

# 国営東京臨海広域防災公園の役割 ～首都直下地震における防災拠点など～





# 整備の経緯

## 阪神・淡路大震災（平成7年1月17日発災）



### 【経験(例)】

- 甚大な被害(戦後初の大都市直下型地震)
- 情報網の寸断、行政機能のマヒ状況の発生 等



### 【対応(例)】

- 災害対策基本法の改正(現地災害対策本部の法定化を含む)
- 初動体制・情報システムの整備
- 消火・救出活動に係る連携体制の強化
- 救援物資の受入体制や医療体制の充実 等

## 都市再生プロジェクト第1次決定(平成13年6月)

### 「東京湾臨海部における基幹的広域防災拠点の整備」の決定



#### 「首都圏広域防災拠点整備協議会」の設置

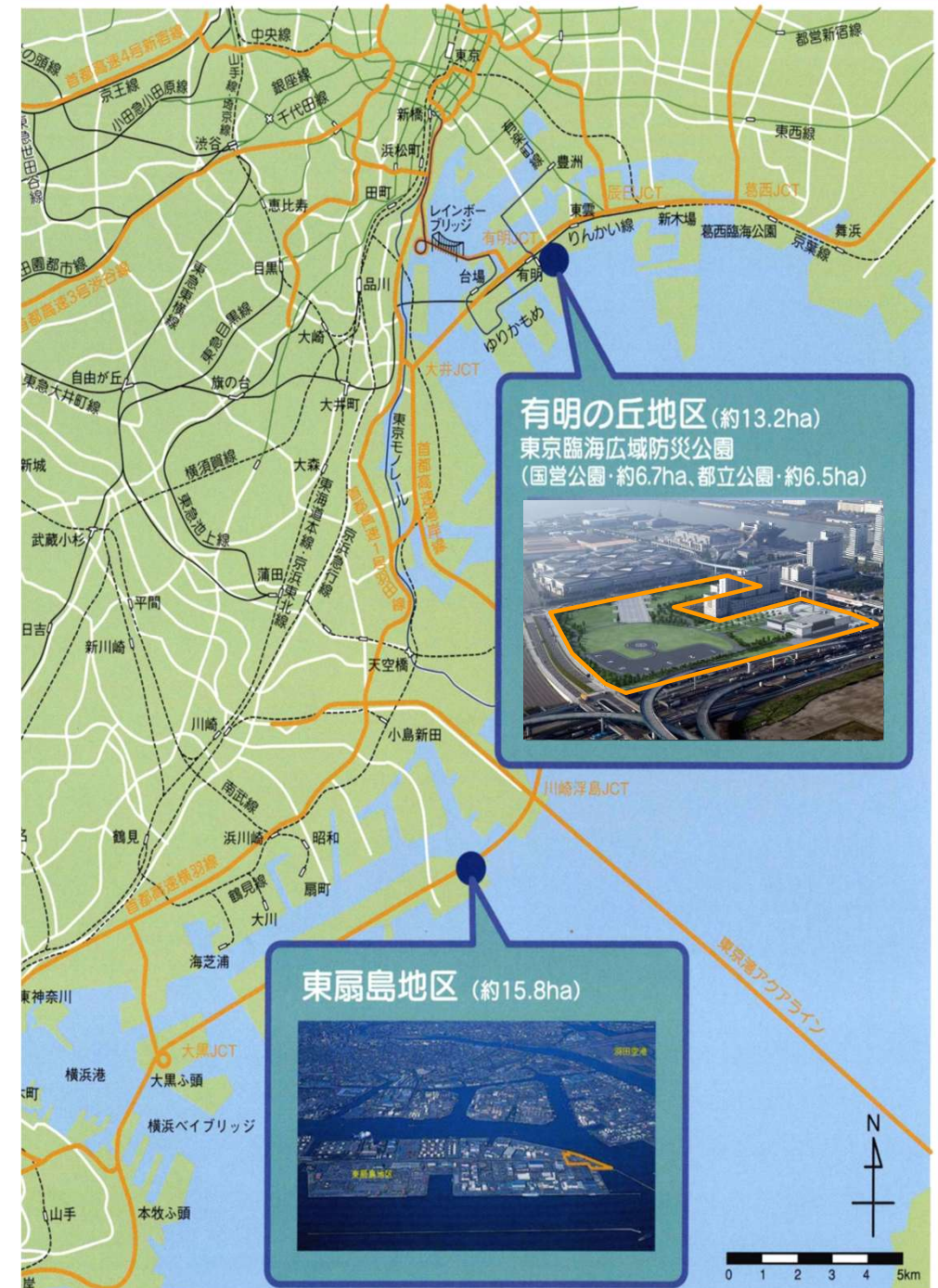
関係府省庁と関係都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市)による整備方策の検討



有明の丘地区(東京都江東区)、東扇島地区(神奈川県川崎市)に  
「東京湾臨海部基幹的広域防災拠点」の整備を決定



平成18年3月施設建設着手、**平成20年6月運用開始(両地区)**





# 施設の機能（発災時）

## 緊急災害現地対策本部

### ■首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画（平成28年3月 中央防災会議幹事会）

→ 政府は、首都直下地震が発生した場合には、被災都県災害対策本部と密接な連携を図るため、被害状況に応じて、速やかに政府現地対策本部を設置する。

政府現地対策本部の設置場所は、東京湾臨海部基幹的広域防災拠点（有明の丘地区）のほか、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県各都県庁のうち、1箇所若しくは複数個所に設置する。

## 災害応急対策活動を行う拠点

### ■首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画（平成28年3月 中央防災会議幹事会）

→ 救助活動拠点としての活用

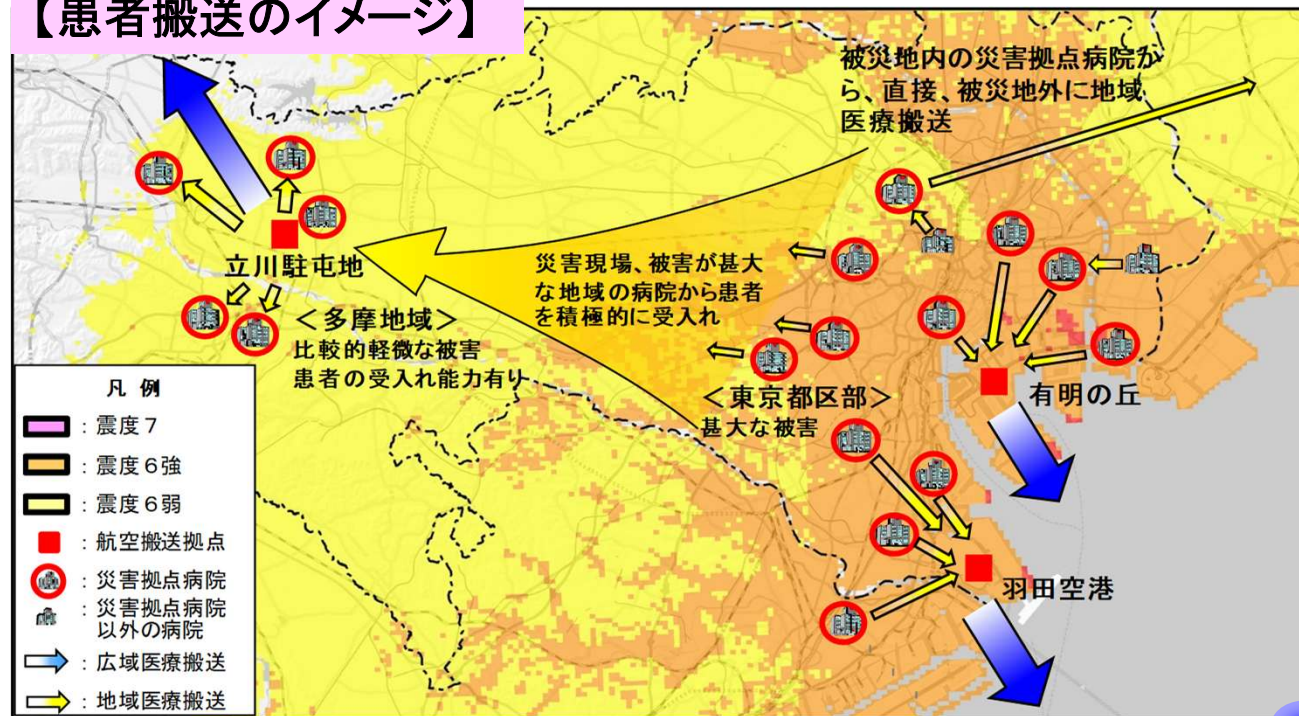
- ・警察、消防、自衛隊等の各部隊が指揮、宿営、資機材集積等に活用



→ 航空搬送拠点等としての活用

- ・被災地の患者を周辺医療機関へ搬送する拠点等として活用

### 【患者搬送のイメージ】





# 施設の概要（有明）



**オペレーションルーム**  
約960㎡、座席数186(他に打合せスペース84席)  
リアプロジェクションモニター(300インチ)



**本部会議室**  
約170㎡、座席数52、リアプロジェクションモニター(100インチ)



## 本部棟

建築面積: 約6,100㎡、延床面積: 約9,500㎡、地上2階建て  
(有明の丘基幹的広域防災拠点施設は本部棟内にある防災施設です)

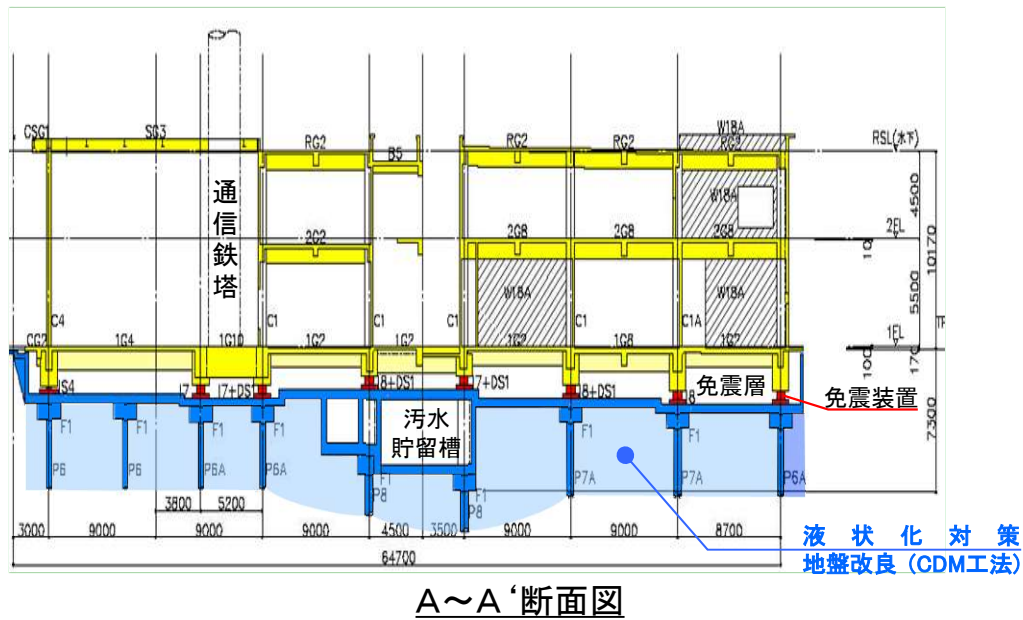
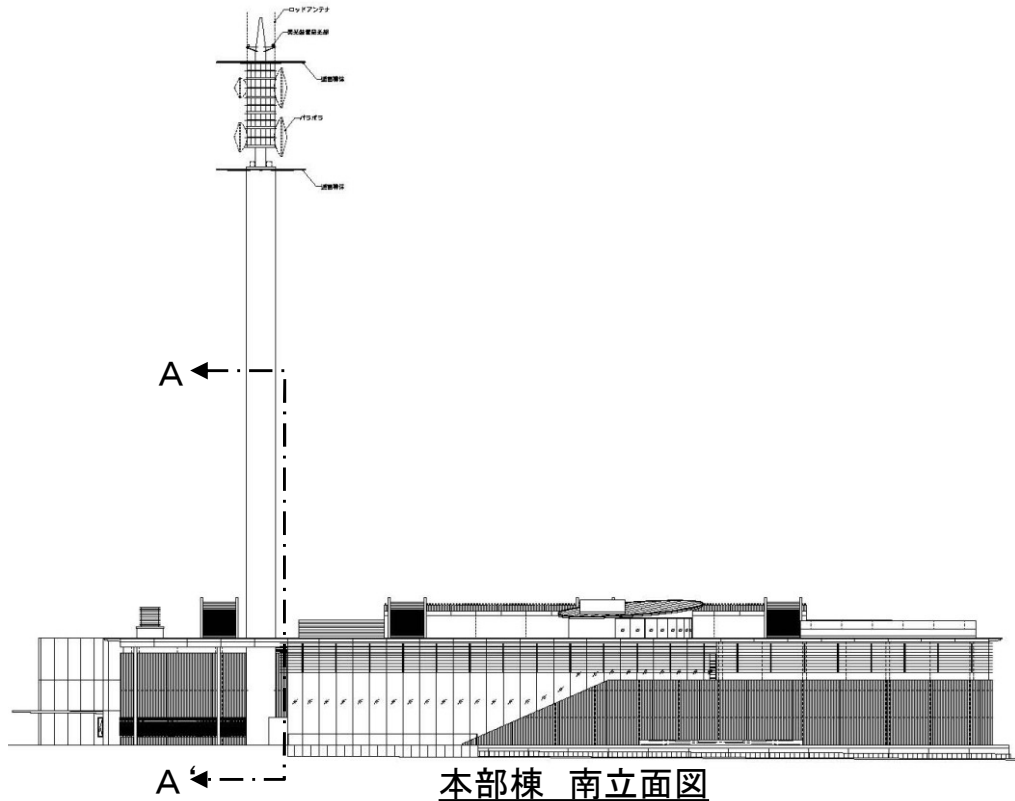
- 建物全体を免震装置の上に配置(通信専用アンテナ塔を含む)
- 中央防災無線(地上系及び衛星系)で全省庁及び全都道府県と接続
- 映像伝送(東京・埼玉・神奈川・千葉)、テレビ会議、ヘリテレ映像の取込みも可能
- 非常用自家発電装置(7日間の連続運転可能)
- 備蓄食糧、飲用水等を、7日間分確保



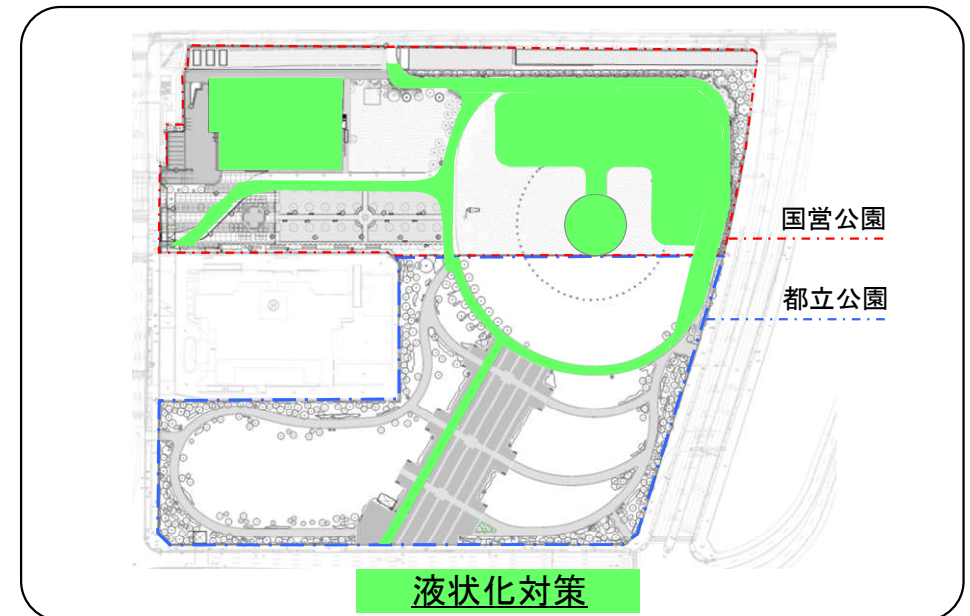




# 本部棟の免震構造・液状化対策



免震装置





# 発災時の運用イメージ



医療支援用地運用イメージ  
(平成22年11月癌研有明病院救急訓練)



がん研有明病院



緊急災害現地対策本部運用イメージ  
(平成30年1月政府総合同上訓練)



多目的広場における広域支援部隊等ベースキャンプ設置イメージ  
(左:平成16年新潟県中越地震 右:平成22年緊急消防援助隊訓練)



ヘリポート運用イメージ  
(平成21年8月自衛隊東部方面隊統合演習)



# 国営東京臨海広域防災公園の概要

位置: 東京都江東区有明三丁目地内

面積: 13.2ha (国営公園6.7ha、都立公園6.5ha)





## 1F 防災体験ゾーン 首都直下地震の発災から避難までの流れを体験





防災体験学習施設（本部棟）

**2F 防災学習ゾーン**

誰にでも知っておいてもらいたい基本のそなえと、1人ひとりそれぞれが準備してもらいたい備えを学ぶエリアとして、2023年6月にリニューアル。

## オペレーションルーム見学

## 一 基本のそなえ

- 72h ツアーで疑似体験した災害時でのそなえについてチェックすることで、そなえの実践を学びます。最新の防災グッズや活用方法を紹介します。

## 一人ひとりのそなえ

- 自分や大切な人にとって必要な多様な  
そなえを紹介し、一人ひとりそれぞれ  
に必要な情報をさがし、学び持ち帰り  
ます。

わたしの  
そなえBOOK

災害時のそなえを自身が学ぶだけでなく、「そなえBOOK」として大切な人にプレゼントできるアプリを館内でダウンロードできます。

## レクチャールーム

- 「防災」をテーマにした各種学習プログラムや講習会などにご利用いただけます。ご利用の際は別途申込みが必要です。管理センターまでお問い合わせください。

映像ホール

- 2009年にフジテレビほかにて放送されたアニメ「東京マグニチュード8.0」を、この施設用に再構成した「東京マグニチュード8.0～東京直下72h～」を、大型プロジェクターで上映します。

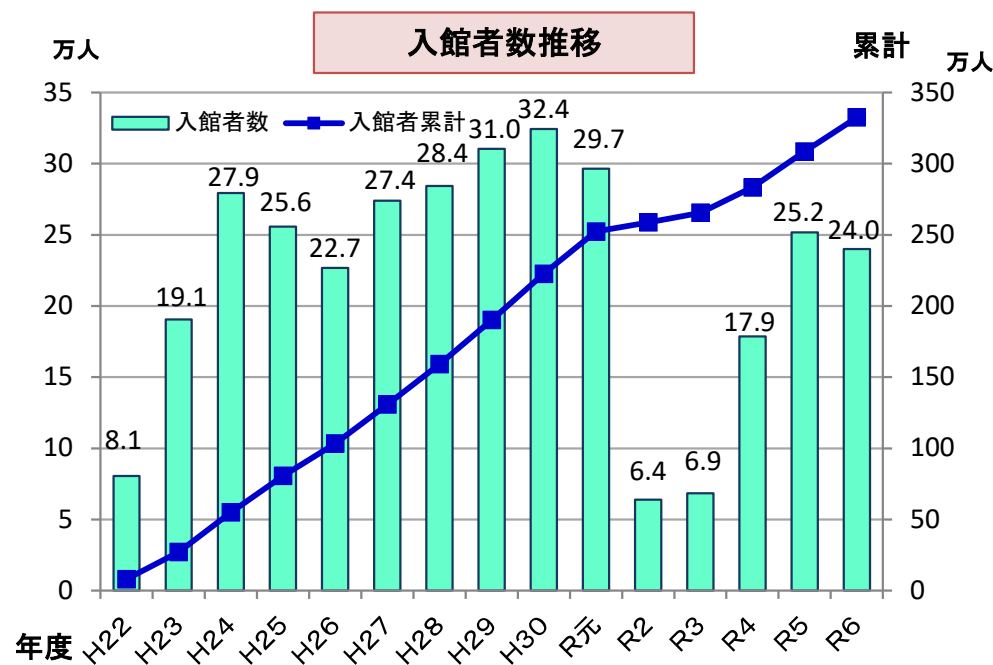
東京マゲニキュート8.0

東京直下72hTOUR



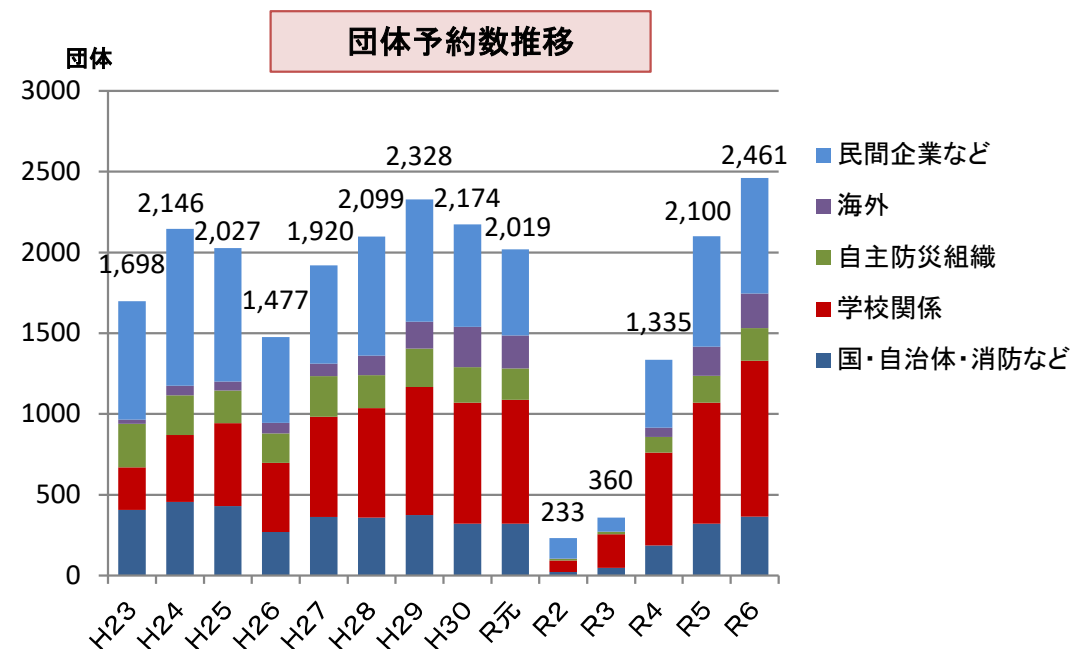


# 【平常時】 防災体験学習（そなエリア東京）



・累計入館者数：約333万人(R6年度：約24万人)

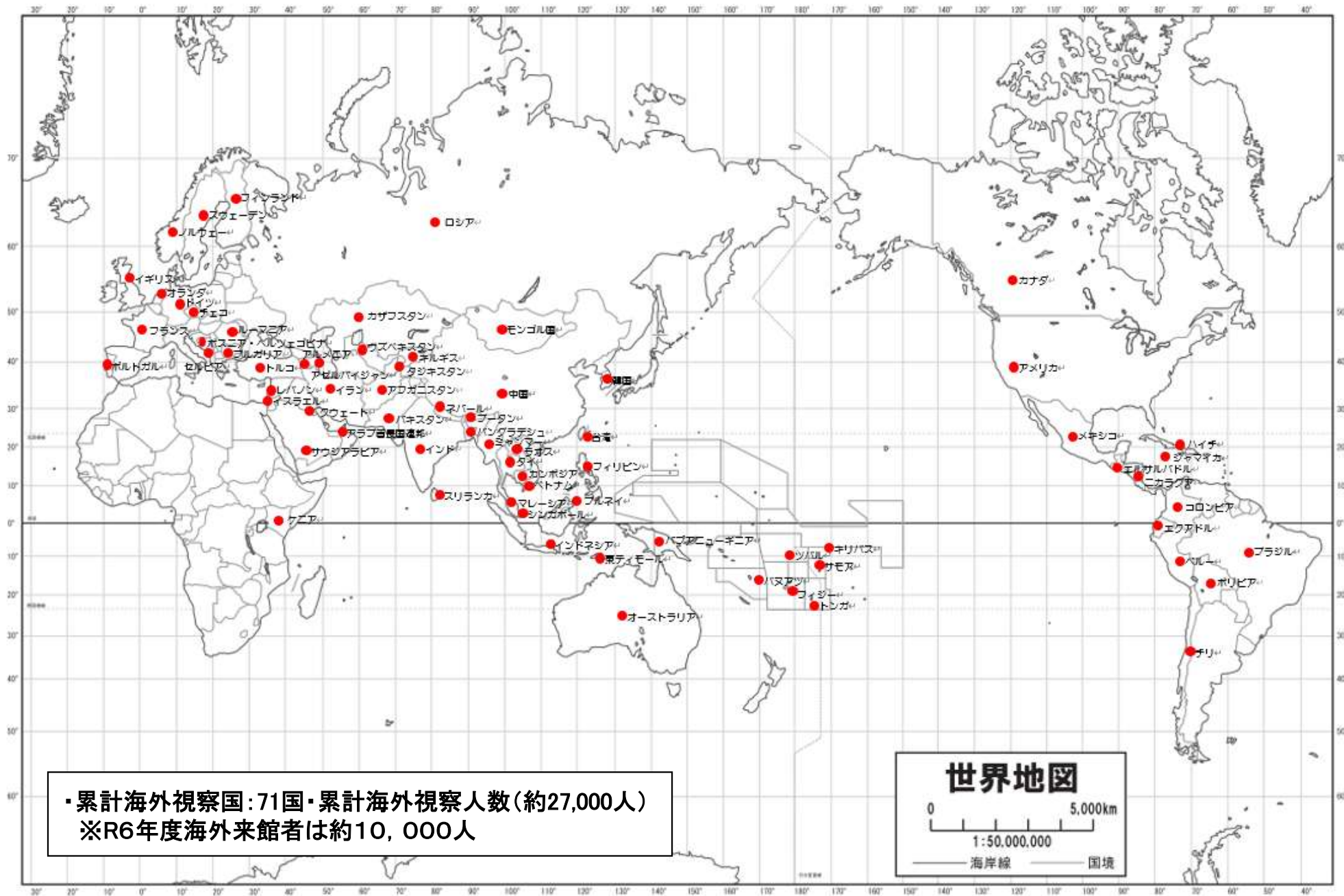
※H22年度は、7月から



・累計団体予約数：約24,000団体(R6年度：2,461団体)



## 海外からの視察状況





# 防災体験・学習、各種訓練の実施

## ヘリコプターによる物資輸送訓練



【R7.8.30 令和7年度東京都・羽村市・日の出町合同総合防災訓練】

## 首都直下地震対応 道路啓開訓練



【R5.8.3 関東地方整備局道路部】

## 発災後を生き抜くサバイバルプログラム



【R5.7.15 宿泊体験訓練 警視庁災害対策課協力】

## 防災体験学習プログラム



講師による防災学習



AEDを使った心肺蘇生法講習



東京直下72hツアー体験学習



非常食湯煎調理・実食体験

【R6.12.6 国土館中学校体験学習】



# 普及啓発・出前講座 の 実施

## 1. 17 阪神・淡路大震災



## 3. 11 東日本大震災



## 9. 1 関東大震災



## 防災関係イベント



## 地震防災 出前講座





# 平時の公園利用状況



【熱気球イベント】



【紙飛行機教室】



【ヘリポート広場】



【屋上庭園】



【パークヨガ】



【バーベキューQ広場】



【エントランス広場】



【エントランス広場】



【ふれあい動物園】



【ガーデニングクラブ】



【72hツアー】



【72hツアー】



【防災クッキング】



【体験・ワークスペース】



【そなえカフェ】



【そなえエリア東京入口】



# 交通アクセスとご利用案内



国営東京臨海広域防災公園

## [最寄駅]

りんかい線 国際展示場駅より徒歩4分

ゆりかもめ 有明駅より徒歩2分

## [公園のご利用に関するお問合せ]

管理センター

〒135-0063 東京都江東区有明3丁目8番35号

TEL 03-3529-2180 FAX 03-3529-2188

## [ホームページ]

<http://www.tokyorinkai-koen.jp/>

## [園地の開園時間] 6:00～20:00

休園日：年末年始及び臨時休園日があります。

## [防災体験学習施設利用時間] 9:30～17:00(入場は16:30まで)

休館日：月曜日、第2火曜日

(祝日の場合は開館し翌日休館)

年末年始及び臨時休館日があります。



国営東京臨海広域防災公園

## ご視察・ご見学にあたって

- 施設内は**禁煙**です。  
喫煙は指定場所でのみお願いします。
- 展示施設内は**飲食禁止**です。
- 館内の備品などにお手を触れたり、移動させたりしないでください。
- 内閣府所管の防災専用部分の写真撮影等は可能です。  
ただし、記事やブログ等で公開されたい場合は、内閣府による事前確認が必要となります。
- 免震層は一部、梁の低い部分がありますので、ご見学の際にはヘルメットの着用が必要です。
- 一般用の来園・来館者用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。  
(団体用バス専用駐車場はございます。)
- 大規模な災害発生時には、災害対策基本法に基づく緊急災害現地対策本部が設置され、政府の災害対策の広域拠点となり、臨時閉園いたします。  
その際は、係員の指示に従って公園外へ速やかに移動してください。

■入園料・入館料：無料■

※本公園は「避難場所」ではありません。災害時には、他の公園などに避難してください※